ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2025/02/03 号(As of 2025/01/31)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	154.43
TKY 9:00AM	154.14	1.0397	160.40	1.2421	0.6214
SYD-NY High	155.23	1.0434	161.50	1.2472	0.6262
SYD-NY Low	153.93	1.0350	159.94	1.2387	0.6204
NY 5:00 PM	155.22	1.0362	160.83	1.2396	0.6214

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,544.66	▲ 337.47	日本2年債	0.7200%	0.0100%
NASDAQ	19,627.44	▲ 54.31	日本10年債	1.2400%	0.0300%
S&P	6,040.53	▲ 30.64	米国2年債	4.2054%	▲0.0071%
日経平均	39,572.49	58.52	米国5年債	4.3317%	0.0088%
TOPIX	2,788.66	6.73	米国10年債	4.5418%	0.0225%
ｼｶｺﾞ日経先物	39,595.00	▲ 235.00	独10年債	2.4590%	▲0.0580%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,673.96	27.08	英10年債	4.5340%	▲0.0255%
DAX	21,732.05	4.85	豪10年債	4.4310%	0.0330%
ﾊﾝｾﾝ指数	-	-	USDJPY 1M Vol	9.56%	▲0.19%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	9.78%	▲0.11%
NY金	2,798.41	49.71	USDJPY 6M Vol	9.74%	▲0.11%
WTI	72.53	▲ 0.20	USDJPY 1M 25RR	▲1.39%	Yen Call Over
CRB指数	304.95	▲ 1.44	EURJPY 3M Vol	9.99%	▲0.04%
ドルインデックス	108.37	0.57	EURJPY 6M Vol	9.99%	▲0.01%

【昨日の指標等】

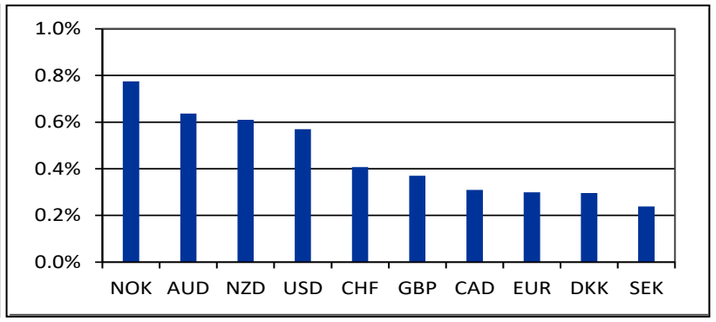
Date	Time		Event		結果	予想
1月31日	08:30	日	失業率	12月	2.4%	2.5%
	08:30	日	東京CPI/コアCPI/コアコアCPI	1月	3.4%/2.5%/1.9%	3%/2.5%/1.9%
	16:00	独	小売売上高(前月比)	12月	−1.6%	0.0%
	16:45	仏	CPI(前月比/前年比)・速報	1月	−0.1%/1.4%	0%/1.5%
	22:00	独	CPI(前年比/前月比)・速報	1月	2.3%/−0.2%	2.6%/0.1%
	22:30	米	ボウマンFRB理事 講演		インフレ抑制の進展が再開することを確認したい	
	22:30	米	PCE価格指数(前月比/前年比)	12月	0.3%/2.6%	0.3%/2.6%
	22:30	米	コアPCE価格指数(前月比/前年比)	12月	0.2%/2.8%	0.2%/2.8%

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
2月3日	08:50	日	日銀金融政策決定会合 主な意見	−	−	−
	09:30	豪	小売売上高(前月比)	12月	−0.7%	0.8%
	10:45	中	Caixin中国製造業PMI	1月	50.6	50.5
	17:55	独	製造業PMI・確報	1月	44.1	44.1
	18:00	欧	製造業PMI・確報	1月	46.1	46.1
	19:00	欧	CPI速報値(前年比/前月比)・速報	1月	2.4%/−0.4%	2.4%/0.4%
	23:45	米	製造業PMI・確報	1月	50.1	50.1
2月4日	00:00	米	建設支出(前月比)	12月	0.2%	0.0%
	00:00	米	ISM製造業景況指数	1月	49.9	49.2

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	153.40−155.50	1.0340−1.0450	160.00－161.50

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は154.14ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。仲値にかけては月末日に伴う実需ﾌﾛｰが優勢となったが、その後はﾄﾗﾝﾌﾟ氏がBRICS加盟国に対し「米ﾄﾞﾙを他通貨で代替しないと約束する必要があり、応じなければ100%関税を課す」と警告したことで逃避的に円が買われ、153.93まで下落。一巡後は米金利上昇の流れに底堅く推移。植田日銀総裁が国会答弁で利上げを急がない姿勢を示唆すると円売りが強まり、154.93まで上昇。結局、154.70ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、154.70ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。ﾄﾗﾝﾌﾟ大統領の関税発言の影響が続きﾄﾞﾙ高で推移するも、155円手前で上値が重くなり結局154.83ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾕｰﾛﾄﾞﾙは、1.0390ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。独1月CPIが市場予想を大きく下回り、1.0365まで低下。その後反発し結局1.0383ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は154円台前半でｽﾀｰﾄ。153.93まで下落する場面もあったが、その後植田日銀総裁が衆院予算委員会で「基調的な物価上昇率が2%に向けて徐々に高まっていくよう、緩和的な金融環境を維持している」との発言が伝わると、その後は円売りが優勢となり、154.83ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方に発表された米12月ｺｱPCE価格指数(前月比)が先月の結果を上回り、発表直後はﾄﾞﾙ買いが優勢となり、155円ちょうど付近まで上昇。しかし、その後は米金利の低下が上値を抑え、154.54まで反落。午後はﾄﾗﾝﾌﾟ米政権が2月1日からﾒｷｼｺとｶﾅﾀﾞの輸入品に対し25%、中国に10%の関税を賦課する事を発表し、ｲﾝﾌﾚ再加速懸念を背景とした米金利の上昇に伴い155.23まで反発し、その後155.22ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.04台前半でｽﾀｰﾄ。1.0413まで上昇する場面もあったが、その後独金利の低下に伴い反落し、1.0383ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方に発表された独1月CPI(前月比)が予想を下回ると、市場は売りで反応し、1.0360付近まで一段と値を下げる。しかし、その後は米金利の低下が支えとなり、1.0434まで反発する。午後は先述のﾄﾗﾝﾌﾟ政権による関税案の発表を受け、終盤にかけて1.0350まで大幅下落し、1.0362ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

【マーケット・インプレッション】

ドル/円市場は相変わらず日米金利差とトランプ政権による関税政策の行方を主要テーマとしている。昨晩は米10年債利回りが4.5%割れまで低下し、ドル/円は154円割れまで売り込まれた一方で、トランプ大統領がカナダとメキシコに対する25%関税賦課を改めて表明すると154円台半ばまで買い戻された。市場参加者の多くはトランプ大統領に対して、何をするのか予測不能との評価をしており、今後もトランプ関連のニュースヘッドラインに振り回されそうである。フロー動向では、本邦の利上げに際してドル/円はさほど売り込まれなかったこともあり、本邦実需筋からはドルの下値を拾う動きが出てきていて、本日も下値をサポートしそうである。一方で、月末要因により投資家からはポートフォリオリバランスのドル調整売りが見られている。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:野田・大島